

イネ科

ムツオレグサ

Glyceria acutiflora Torr. subsp. *japonica* (Steud.) T.Koyama et Kawano

兵庫県ランク… C

環境省ランク… -

■ 県内分布

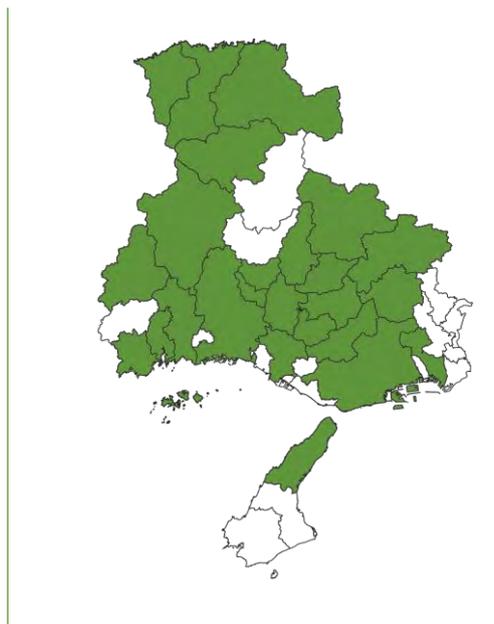
神戸市、西宮市、三田市、加古川市、西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、多可町、姫路市、市川町、福崎町、相生市、赤穂市、宍粟市、たつの市、佐用町、豊岡市、養父市、香美町、新温泉町、丹波篠山市、丹波市、淡路市

■ 国内分布

北海道、本州、四国、九州

■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性	
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布	
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界	
		希少	○



■ 特記事項

湿田やその周辺の湿地の減少により減少傾向にある。2020年版での新規掲載種。



写真提供:松岡成久

■ 保護上の留意点

生育地である湿原の保全が重要である。

■ 種の概要

水田やため池畔に生育する多年草。茎は高さ20-70cmになり、基部に倒伏、斜上する新苗をつける。葉身は薄くて線形、長さ10-30cm、幅3-6mm。円錐花序は線形で直立し、長さ10-30cm、5-20個の小穂がつく。小穂は長さ2.5-5cm、淡緑色で、8-15個の小花からなる。花期は5-6月。